

令和3年度 学校自己評価システムシート（滑川町立滑川幼稚園）

目指す幼稚園像	明るく健康な幼児が育つ園づくり
重点目標	1. 一人一人が健康で安全に過ごせる幼稚園 2. 基本的な生活習慣が定着し、進んで行う子の育成 3. 家庭・地域に信頼される園づくり

達	A	ほぼ達成(8割以上)
成	B	概ね達成(6割以上)
度	C	変化の兆し(4割以上)
	D	不十分(4割未満)
	E	よくわからない

学 校 自 己 評 価					学 校 関 係 者 評 価			
年 度 目 標					年 度 評 価 (1 月 3 1 日 現 在)			
番号	現 状 と 課 題	評 価 項 目	具 体 的 方 策	方 策 の 評 価 指 標	評 価 項 目 の 達 成 状 況	達 成 度	次 年 度 へ の 課 題 と 改 善 策	実 施 日 令 和 4 年 3 月 3 日 学 校 関 係 者 か ら の 意 見 ・ 要 望 ・ 評 価 等
1	<ul style="list-style-type: none"> ・上手に体を動かすことができずに、よろけたり転んだりする姿がある。 ・体を動かして遊ぶことに苦手意識をもつ子が増えてきている。 ・室内を走ったり、保育室から廊下に飛び出したりする危険な場面が見られる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・保育内容の充実 (生活)(興味・関心) ・保育内容の充実 (生活)(興味・関心) 	<ul style="list-style-type: none"> ・巧技台やラバーリングなどの用具を使ってサーキット遊びを設定し、バランスをとったり、いろいろな体の動きを経験したりできるようにする。 ・サーキット遊びを通して様々な運動遊びを経験できるようにし、成功体験を積み重ねることで運動遊びに対する ・保育室の出入口や階段付近など、視界が悪く危険な場所に、注意を促す掲示をする。 ・室内でも体を動かす遊びを意図的に取り入れ、園児が気持ちを発散できるようにする。 	<ul style="list-style-type: none"> ・体の動かし方が良くなってきたと思われる園児が8割以上いたか。 ・8割以上の園児が体を動かして遊ぶことに積極的になったか。 ・室内を走る園児が減ったか。 ・室内での事故や危ないと感じる場面が少なくなったか。 	<ul style="list-style-type: none"> ・サーキット遊びを取り入れたことで、いろいろな体の動きを楽しむことができた。 ・アンケート結果からも8割以上の園児が体の動かし方やバランスのとりの方が良くなってきた。 ・8割以上の園児がいろいろな運動遊びに取り組めるようになった。 ・教師から繰り返し指導を行うことで、室内を走ることは危険だと認識して行動できる園児が増えた。 ・他のことに気を取られ、室内で走ってしまう子はまだ見られるが、危険な場面は少なくなってきた。 	A	<ul style="list-style-type: none"> ・サーキット遊びは園児の運動能力や意欲の向上に効果的だったため、今後も継続して取り入れていく。準備や設置場所の確保などの課題があるが、今年度の取り組みをもとに職員で検討していく。 ・サーキット遊びやリズム遊びを取り入れ、エネルギーを発散できるように室内遊びを工夫する。 ・危険を知らせる表示を工夫できなかったクラスもあったため、次年度の課題とする。 	<ul style="list-style-type: none"> ・園庭で元気に遊ぶ姿を見て体を動かすことが気持ちいいと感じている。”楽しく体を動かす”を重要視して指導できている。 ・滑川幼稚園は以前から体の動かし方については課題としてずっと取り組んでいる。近年、子供たちは腰より頭を下げる機会が少なく、『くぐる』『這う』などの動きを取り入れていくと良い。 ・『掴む』などの動きを意図的に取り入れていくとよい。 ・”思い切り”の場面が少なくなってきている。なんとなくやってしまったたり、幼児自身で調整しているような姿があるので、思い切り何かをする機会を意
2	<ul style="list-style-type: none"> ・椅子に座っている時の姿勢が悪く、足を組んだり、斜めに寄りかかるように座ったりしている子が多く見られる。 ・挨拶や返事をすることができない園児が多くなった。 	<ul style="list-style-type: none"> ・基本的生活習慣の定着 (生活) ・基本的生活習慣の定着 (生活)(他者との関係) 	<ul style="list-style-type: none"> ・一人一人の体格にあった椅子を使用しているか見直す。 ・正しい椅子の座り方や姿勢を知らせ、教師が手本を示しながら繰り返し指導していく。 ・マスクで顔が見えていないことの影響も大きいと考えられるため、教師は朝の出迎えの時にできるだけフェイスガードを使用し、表情が見える状態で挨拶をしていく。 ・教師が手本となり、一人一人の園児に繰り返し声をかけて挨拶や返事に 	<ul style="list-style-type: none"> ・正しい姿勢で椅子に座れるようになった園児が増えたか。 ・8割以上の園児が挨拶や返事をきちんとできるようになったか。 	<ul style="list-style-type: none"> ・教師が手本を示したり、繰り返し指導をした結果、正しい姿勢で椅子に座れる園児が増えた。 ・新感染症の拡大のため、2学期以降は、フェイスガードで朝の挨拶をすることが難しくなった。しかし、教師から積極的に繰り返し指導をしていくことで、挨拶や返事ができるようになってきた園児が増えた。 	A	<ul style="list-style-type: none"> ・昼食時に足を組んだり、背中が丸くなっている園児が多いので引き続き指導していく。 ・椅子と机のバランスを見直す。 ・担任以外の教師へは恥ずかしがって挨拶ができない子や、声が小さい子もまだ多い。 ・挨拶や返事に対して意識が向けられるような教材の導入を検討する。 	<ul style="list-style-type: none"> ・正しい姿勢で椅子に座れるように引き続き指導してもらえるとよい。 ・マスクをしていると表情がわかりにくいので、リアクションは大きめに、笑ってる、怒ってる、
3	<ul style="list-style-type: none"> ・今年度から町内の未就園児親子を対象に子育て支援事業『びよびよ広場』を週2回のペースで開催している。利用希望者は多いが、在園児の兄弟が占める割合が大きい。 ・ホームページがリニューアルされたが、幼稚園からの情報発信がまだ不足している状態である。また、写真やカラフルなイラストはなく、固い感じの 	<ul style="list-style-type: none"> ・開かれた園づくり (他者との関係) 	<ul style="list-style-type: none"> ・保健センター等に「びよびよ広場」のポスターやチラシを配布し、地域に積極的に情報を発信することで、新規の利用者を増やしていく。 ・写真やイラストなどを入れ、保護者や地域の方が見てみたいと思えるように、幼稚園らしい魅力あるホームページを 	<ul style="list-style-type: none"> ・「びよびよ広場」は1年間を通して定員の8割以上の利用者がいたか。 ・在園児がいない家庭での利用者が増えてきたか。 ・ホームページを改善し、幼稚園の情報が保護者や地域に分かりやすく伝えられるようになったか。 	<ul style="list-style-type: none"> ・「びよびよ広場」は毎回定員に達するほど人気があったため、定員を増やしたり、キャンセル待ちシステムを導入したりした。 ・在園児がいない家庭での利用者は全体の3割いたが、増加の傾向は見られなかった。 ・ホームページ全体のレイアウトを改善することはできなかったが、写真を多く掲載し、幼稚園の様子が伝わりやすいホームページに 	B	<ul style="list-style-type: none"> ・「びよびよ広場」のポスターやチラシの配布場所について再検討し、新規の利用者につなげる。 ・保護者がホームページに求めているものは何なのかを探り、保護者のニーズに沿ったホームページを作る。 ・ホームページについて、園 	<ul style="list-style-type: none"> ・地域のニーズがあり、それに答えている。公立の園としては、地域のニーズに答えているのは良いこと。幼稚園が子育て支援を行っていく。 ・HPを保護者に見てもらえないのは、どこの園でも同じ。見てもらうためにはQRコードをつけ、「HPあります」写真のせてます」など一文載せ、保護者へ手紙を配布するなどしたらどうか。